

大学自己評価部会だより

第43号 (平成27年4月)

カリキュラム・ポリシー

大学院歯学研究科(博士課程)では本学の理念および教育研究目標にもとづき、学位授与の方針が明確に定められています。カリキュラム・ポリシーとは、教育目標やディプロマ・ポリシー等を達成するために必要な教育課程の編成や授業科目の内容および教育方法について基本的な考え方を示したものです。

- (1) 高度の専門性を習得することを目的に、所属分野の講義・演習を実施する。
- (2) 包括的な生命科学および臨床の知識と技術を習得することを目的に、専門領域の枠を超えて講義・演習を実施する。
- (3) 生命科学全般の基礎や研究遂行に必要な方法論に関する講義・演習を実施する。
- (4) 歯科臨床および研究に応用することを目的に、医工学と連携した講義・演習を実施する。
- (5) 国際性の向上のため、外国語によるプレゼンテーションや論文作成能力を養成する講義・演習を実施する。
- (6) 学内外を問わず多くの分野における高度な専門家による講義・演習を実施する。

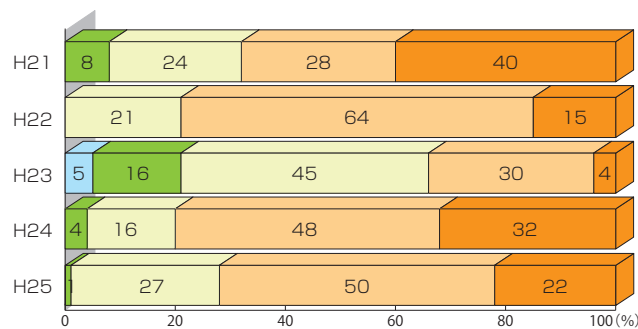
アンケートの調査結果を報告します

大学院生の履修科目についての満足度、履修の方法や制度の理解度および研究の実態などについて、平成21～25年度の5年間を比較しました。

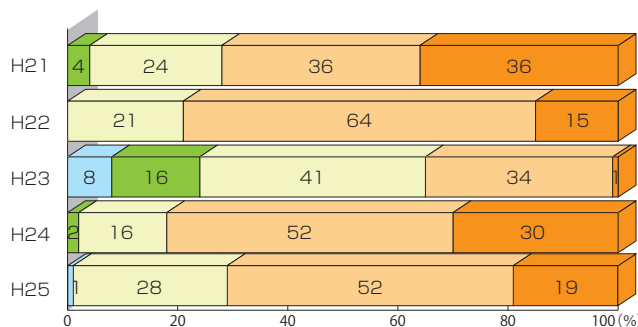
① 主科目および副科目・選択科目に対する満足度

大学院では、平成19年度よりシラバスを作成し、毎年講義内容の見直しや受講者の少ない選択科目の見直しを行い講義・実習の充実を図っています。

主科目に対する満足度



副科目・選択科目に対する満足度

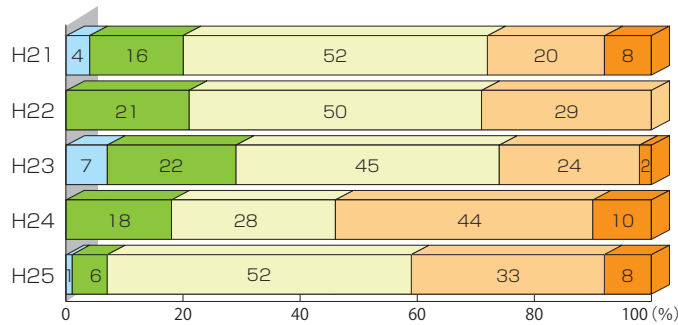


■ 高い
■ 少し高い
■ 普通
■ 少し低い
■ 低い

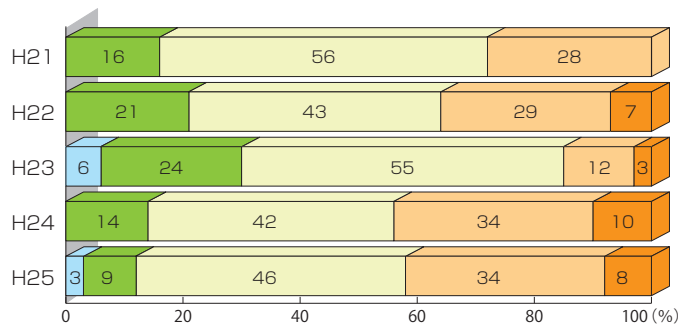
② 授業要綱や学習相談などについて

授業要綱(シラバス)の書き方を統一したことにより、ずいぶん見易く、判り易くなったようです。大学院生のニーズを大学が把握していないという意見として「英語論文の書き方」、「プレゼンテーションスキル」や「臨床研究デザイン」などの講義の開設要望が挙がっています。

授業要綱は判り易いですか

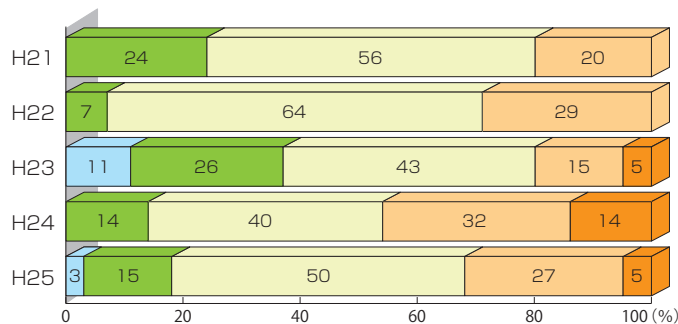


学習相談や助言などは適切に行われていると思いますか



■ そう思う
■ どちらかといえばそう思う
■ どちらともいえない
■ どちらかといえばそう思わない
■ そう思わない

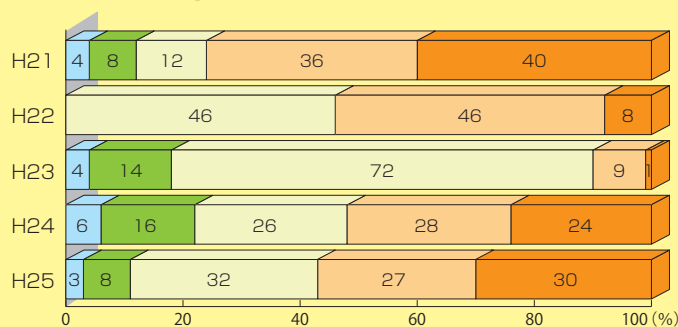
大学は皆さんのニーズを適切に理解していると思いますか



③ 研究指導に対する満足度

研究指導に対する満足度の低い学生の割合は若干減少したようですが、臨床と研究のバランスに配慮して欲しいという意見が出てます。指導教員の先生方は大学院生と臨床と研究のバランスについてよく話し合っ、研究を進めることが大切です。

現在の研究指導に満足していますか



■ 高い
■ 少し高い
■ 普通
■ 少し低い
■ 低い

この「大学自己評価部会だより」にご意見の方は kikaku@kyu-dent.ac.jp へお願いいたします。